

市間山～立岩山～日の平山縦走 花情報

5/8 市間山登山口～縦走ピストンしました。戸河内の町から入って、林道入り口で電気柵ゲートを通って。廿日市から長い林道経由で来られたグループによると、林道はかなり荒れていたそうです。登山口(駐車スペース)で、クサイチゴ、オトコヨウゾメ、ガマズミの花。



クサイチゴ



オトコヨウゾメ



ガマズミ



ギンリョウソウ

登山口から数分登ると、至るところにギンリョウソウが顔を出しています。

急登を登り切って、杉の植林内でサルメンエビネを発見。なだらかな傾斜の植林内でサルメンエビネの小群生。



サルメンエビネ



年々株数が減少しているとのこと。寂しい限りです。

SNS で地図と写真を張り付けてアップされているものがあり、盗掘を促していることが想像されます。

地図に写真を張り付けていなくても、撮影時間を削除していない場合、容易に撮影場所を特定できます。

工夫が必要ですね。人知れず咲くのが一番美しいのですが……それでは私達が出会う事が出来ません。

次世代に残そうという、強い意識が求められています。愛好家や業者による盗掘が無いことを祈るばかりです。

市間山～立岩山～日の平山縦走路で、サルメンエビネの花は1株だけでした。(登山道を外れたら有るそうです)杉植林内でユキザサが群れて咲いていました。

立岩山から立岩付近に、イワカガミ、ウスギヨウラク、ベニドウダン、ミツバツツジが豊富。イワカガミは終わりがけ。



ユキザサ



イワカガミ



オオカメノキ(ムシカリ)



ミツバツツジ(ダイセンミツバツツジ?)



ベニドウダン(蕾)



ウスギヨウラク



日の平山から坂原へ下山ルート分岐を過ぎると、日の平山山頂まで笹藪の道になります。

踏み跡は明瞭なので迷うことは無いと思います。

新緑の中を、双眼鏡を手に野鳥観察しながらの歩きは、時間を忘れてしまいそうです。

車両が2台あると、縦走は楽になりますね。私たちはピストンでした。



ブナ林の新緑は、表現できないほど美しい！！

※坂原から日の平山ルート登山道では、溪谷にエビネの群生があるようです。(ヤママップ 2022. 5. 8)

安佐岳友クラブ 大藤